



ほこっと

TEL 0598-38-1133

<http://www.town.taki.mie.jp/library/index.html>

落ちこぼれ

落ちこぼれ

和菓子の名につけたようなやさしさ

落ちこぼれ

いまは自物や出来そこないの謂

落ちこぼれないための

ばかばかしくも切ない修業

落ちこぼれにこそ

魅力も風合いも煮るのに

落ちこぼれの実

いっぱい包容できるのが豊かな大地

それならお前が落ちこぼれる

はい 女としてはとっくに落ちこぼれ

落ちこぼれずに旨げに成って

むぎむぎ食われてなるものか

落ちこぼれ

結果ではなく

落ちこぼれ

華々しい意志であれ



『茨木のり子詩集 わたしが一番きれいだったとき』 岩崎書店

5月

■はお休みです。

日	月	火	水	木	金	土
29	30	■	2	3	4	5
昭和の日	観音の日	■				
6	■	8	9	10	11 10:30~ おもちゃ	12 10:30~ ほけっと
13	■	15	16	17	18 10:30~ 茶ちゃん	19
20	■	22	23	24	25	26 10:30~ ほけっと
27	■	29	30	■	1	2

● 図書館利用案内 ●

- ☆ 開館時間：午前10時～午後6時まで
- ☆ 貸出期間：2週間
- ☆ 貸出冊数：ひとり10冊まで
- ☆ 図書館が閉まっているときは、返却ポスト（玄関向かって左側）へ返却できます。
- ☆ 多気図書館、勢和図書館のどちらでも返却していただけます。

2018 (にーまるいちばち) 彩る感動 東海総体

4/15 (日) ~ 5/13 (日) 関連本展示

スポーツ選手のノンフィクション、小説、
スポーツ心理学、栄養学などの本を集めました。



(左) 『空への助走 福蜂工業高校運動部』

壁井ユカコ(かべい・ゆかこ) 集英社

(右) 『イップス

魔病を乗り越えたアスリートたち Yips!』

澤宮優(さわみや・ゆう) KADOKAWA

三重県での開催はなんと45年ぶりです。

応援しよう! 読んでみよう!

総体開催期間：7/26 (木) ~ 8/20 (月)

今月のおすすめ

『子どもへのまなざし』 (1998年)

佐々木正美 (ささき・まさみ) 福音館書店

児童精神科医の著者は、

子どもは人とふれあいなから育つことが大事だと伝えている。次の世代を生きる子どもたちを豊かに健やかに育てることはみんなが考えていく地域社会の問題でもある。



子どもにかかわり合う人はもちろん、多くの人に読んでもらいたい。

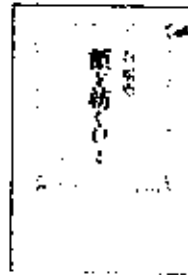
(全3巻)

- ・『続・子どもへのまなざし』 (2001年)
『子どもへのまなざし』に寄せられたたくさんの質問に答える続編。
- ・『完・子どもへのまなざし』 (2011年)
みんながともに生きていく社会をめざして……

『顔を紡ぐひと』

(2018年)

谷瑞穂 (たに・みずえ) 新潮社



どんな奇妙な品も形にならない想いまでもすべて受け入れ、一番ふさわしい額装に仕上げている。相手に寄り添い紡ぐ—それは前を向くための一区切り。作り手の夏樹たちが背負う過去とこれからも、最後まで気になってしまう。

『整える、こと』

広瀬裕子 (ひろせ・ゆうこ)

PHP研究所 (2018年)



5月、心身共に疲れが出る頃、
『整える』静かに手に取ってみてください。

『人間の未来 AIの未来』

講談社 「絵本 パパラギ

(2002年)

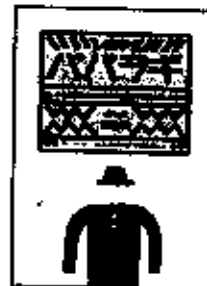
山中伸弥 (やまなか・しんや) 羽生善治 (はぶ・よしはる) (2018年)



科学者と棋士が10年先、100年先の将来について対談。なぜ、棋士は人工知能(AI)に負けたのか。人間にできてAIにできないことは？急速に進む技術進歩は暮らしをどう変えていくのか。

はじめて文明を見た南の島の酋長ツイアピが話したこと』

エーリッヒ・シヨイルマン編集 立風書房



現代社会に警鐘を鳴らす。酋長ツイアピは、はじめてパパラギ (=白人)たちの「文明社会」に触れた驚きを、島の人人々に語る。お金・時間・都会・機会・情報・物欲……。豊かさ引き換えに失ったものは大きいかもしれない。

『一〇一歳の習慣 いつまでも健やかでいたい

あなたに、覚えておいてほしいこと』(2018年)

高橋幸枝 (たかはし・さちえ) 飛鳥新社



101歳の現役医師が伝える暮らしと心の習慣。寂しさに襲われたときは、「ほんのひと手間」の魔法で幸せになります。幅広い世代の方に読んでもらいたい前向きになる本。

『母の家がごみ屋敷』

(2018年)

高齢者セルフネグレクト問題』

工藤 哲 (くどう・あきら) 毎日新聞出版



離れて住む父や母の住まいがなぜ「ごみ屋敷」にかわってしまうのか。その背景を探り高齢者のセルフネグレクト(自己放任)の問題や行政の取り組みを紹介する。

高齢者を置き去りにしないために何ができるのでしょうか。